

6 ガイドのモデルルート

スポット

【3～4時間コース】

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→忠魂碑→第1坑口→
掩蔽壕→通信所跡→留魂壕・新聞社壕→首里城→西のアザナ
→第5砲兵司令部壕跡（通気孔）→第5坑口→一中戦没学徒
資料室→首里杜館





フィールドワークの 服装と持ち物

現場では常に動き回るため、服装や持ち物にも工夫が必要です。右にガイドの持ち物の例をあげてみましょう。実際のガイドはこうした基本的な持ち物から、自分なりの工夫をこらしたアイテムまで幅広く使用します。



7 沖縄県の取り組み

壕を活用した平和発信・継承

壕を活用した平和発信・継承への取り組みにあたっては、有識者の意見を踏まえながら、次のとおり実施していきます。

1 文献資料等を活用した平和発信・継承

第32軍司令部壕は戦争を司令する役割を担い、沖縄戦の方向性を決定づける判断がなされた重要な場所です。第32軍司令部壕の保存・公開にあたっては、壕内の活動・生活等に関する文献資料や証言記録の収集等の調査研究の成果を活用し、同壕の持つ特別な機能等について、史実等に基づき正確に発信・継承していきます。

2 平和教育等への利活用

(1) 平和教育・学習

第32軍司令部壕を、壕内部の追体験やその他の手法を用いて、沖縄戦の実相を伝えることができる平和教育・学習の場として利活用します。また、調査研究で判明した各場所の役割を分かりやすく伝えられるよう、第32軍司令部壕の各坑口・坑道を巡るフィールドワークを実施します。これにより、第32軍司令部壕に加え、掩蔽（えんぺい）壕や留魂（りゅうこん）壕等の首里地域の戦争遺跡や県内戦争遺跡への興味関心を高めるとともに、戦争で焼失した中城御殿跡や円覚寺跡等の文化財を含めた、地域の歴史文化を知るきっかけにもなるなど、総合的な平和教育・学習につながることを期待されます。さらに、首里城公園に来場する多くの観光客にも関心を向けてもらう方策を検討するとともに、第32軍司令部壕が最後に陣を構えた摩文仁にある沖縄県平和祈念資料館と連携した平和教育・学習を展開できるよう取り組みます。

(2) 平和交流活動

県内外の戦跡や平和に関連する施設との平和のネットワークを構築し、イベントの共同開催や人材の相互交流等の平和交流活動を実施することにより、多くの人たちが第32軍司令部壕を訪れる機会を創出します。また、見学者に第32軍司令部壕を解説するための語り部やガイド等の育成に向け、収集した資料や証言を活用したガイドテキストの作成に継続して取り組んでいきます。

(3) 見学方法

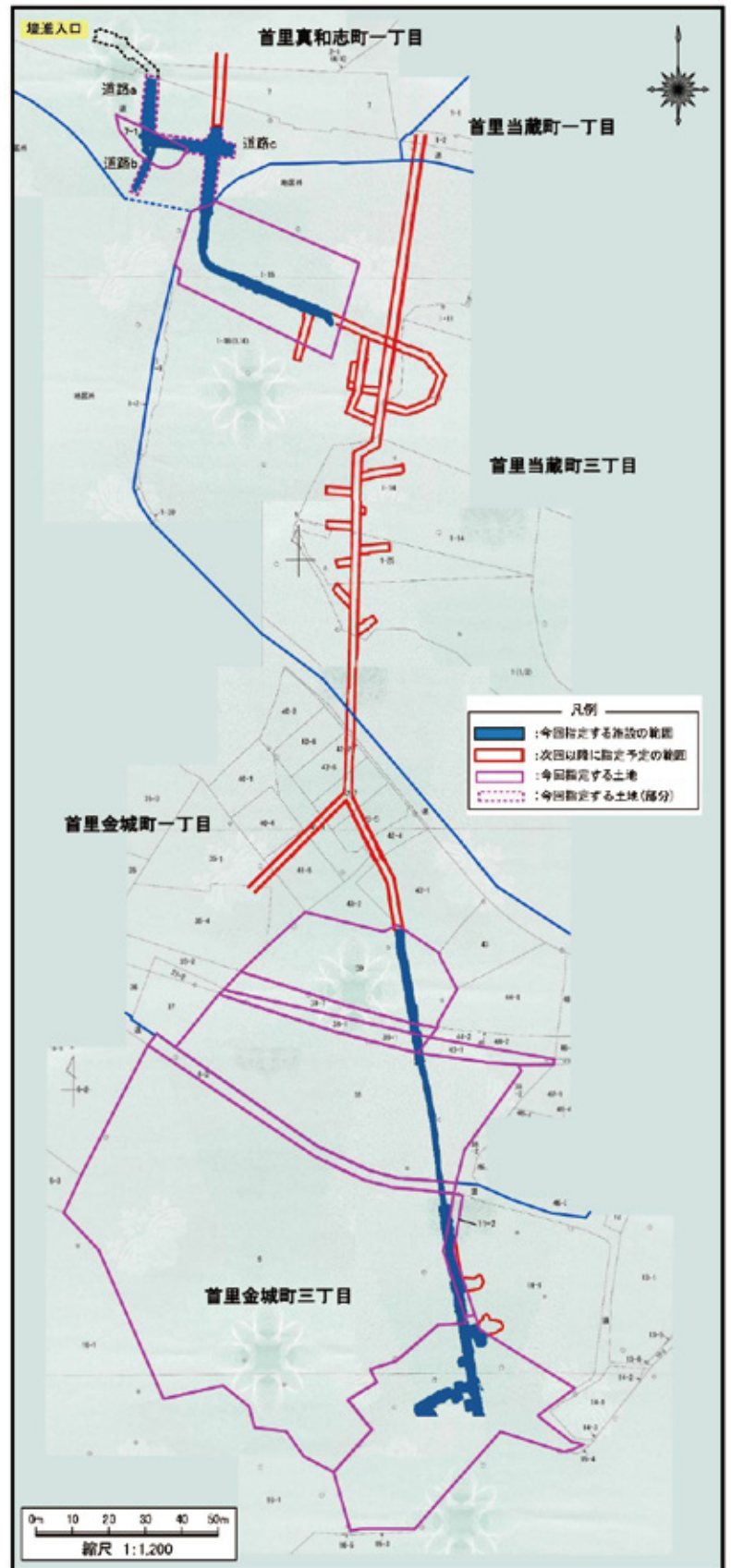
第32軍司令部壕における壕内部の見学は、ガイドが同行し壕内の機能を伝えられるよう検討します。また、展示施設や各坑口・坑道のエリアについては、ガイドの同行、見学可能な時間帯などの必要な事項について、引き続き検討を行います。

3 広報・PR活動

第32軍司令部壕の保存・公開の取組推進に向けた県民の機運を高めるべく、施設の整備状況や詳細調査等の様々な情報を掲載するなど専用ホームページの充実を図るとともに、首里城復興と連動した情報発信に取り組みます。

4 沖縄県史跡に指定

第32軍司令部壕は2024年(令和6年)11月29日付で沖縄県史跡に指定されました。沖縄戦時の軍事施設跡が沖縄県の史跡に指定されるのは初めてのことで、文化財保護の観点から大変意義深いものとなりました。第32軍司令部壕は、「住民を巻き込んだ組織的持久戦の展開」という沖縄戦の方向性を決定づける判断がなされた場所として、沖縄戦の実相を次世代に伝える極めて重要な遺跡と評価されています。また、2025年(令和7年)は戦後80年の節目に当たり、戦争体験や教訓の風化が懸念される中で、戦争の不条理さ、残酷さ、醜悪さを知るとともに、平和の尊さを伝える貴重な遺跡でもあります。沖縄県は、引き続き関係機関や那覇市教育委員会などと連携しながら、文化財の適切な保存と活用に努めてまいります。



▲第32軍司令部壕の文化財指定範囲

8 参考文献リスト

- ・ 沖縄県教育庁文化財課史料編集班『沖縄県史 各論編第6巻 沖縄戦』（沖縄県教育委員会、2017年）
- ・ 沖縄県教育庁文化財課史料編集班『沖縄県史 資料編23 沖縄戦日本軍史料 沖縄戦6』（沖縄県教育委員会、2012年）
- ・ 琉球政府『沖縄県史 第9巻 沖縄戦記録1』（図書刊行会、1971年）
- ・ 沖縄県知事公室平和・地域外交推進課『首里城地下 第32軍司令部壕パンフレット』（沖縄県、2024年）
- ・ 防衛庁防衛研究所戦史室『戦史叢書11 沖縄方面陸軍作戦』（朝雲新聞社、1968年）
- ・ 八原博通『沖縄決戦 高級参謀の手記』（中央公論新社、2015年）
- ・ 沖縄県立埋蔵文化財センター『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書75 沖縄県の戦争遺跡』（沖縄県立埋蔵文化財センター、2015年）
- ・ 那覇市企画部市史編集室『那覇市史 資料篇 第2巻中の6(戦時記録)』市民の戦時体験記(公募原稿)、戦時資料(那覇市企画部市史編集室、1974年)
- ・ 那覇市企画部市史編集室『沖縄の慟哭 市民の戦時・戦後体験記1(戦時篇)』（那覇市企画部市史編集室、1981年）
- ・ 沖縄県警察史編さん委員会『沖縄県警察史 第2巻(昭和前編)』（警察本部、1993年）
- ・ 南風原町史編集委員会『南風原町史第3巻 戦争ダイジェスト版 南風原が語る沖縄戦』（南風原町、1999年）
- ・ 沖縄タイムス社『沖縄戦記 鉄の暴風』（筑摩書房、2024年）
- ・ 大田昌秀、外間守善『沖縄健児隊』（日本出版協同、1953年）
- ・ 龍潭同窓会『龍潭百年—沖縄師範学校百年記念誌』（龍潭同窓会、1980年）
- ・ 沖縄師範学校龍潭同窓会『傷魂を刻む わが戦争体験記』（龍潭同窓会、1986年）
- ・ 工の絆編集委員会『工の絆 弾雨下の工業健児』（沖縄県立沖縄工業高等学校同窓会、1995年）
- ・ 渡久山朝章『南の巖の果まで—沖縄学徒兵の記』（文教図書、1978年）
- ・ 大田昌秀『沖縄鉄血勤皇隊』（高文研、2017年）
- ・ 外間守善『私の沖縄戦記 前田高地 六十年目の証言』（角川学芸出版、2012年）
- ・ 兼城一『証言・沖縄戦 沖縄一中・鉄血勤皇隊の記録(上)』（高文研、2000年）
- ・ ひめゆり平和祈念資料館『ひめゆり平和祈念資料館資料集4 沖縄戦の全学徒隊』（フォレスト、2020年）
- ・ 金城和彦『沖縄戦の学徒隊 愛と鮮血の記録』（日本図書センター、1992年）
- ・ 吉浜忍ほか『沖縄戦を知る事典 非体験世代が語り継ぐ』（吉川弘文館、2019年）
- ・ 古賀徳子ほか『続・沖縄戦を知る事典 戦場になった町や村』（吉川弘文館、2024年）
- ・ 琉球新報社『証言沖縄戦 戦禍を掘る』（琉球新報社、1995年）
- ・ 大田昌秀『これが沖縄戦だ 写真記録』（琉球新報社、1977年）
- ・ 牛島貞満『首里城地下 第32軍司令部壕』（高文研、2021年）
- ・ 保坂廣志『首里城と沖縄戦 最後の日本軍地下司令部』（集英社、2024年）
- ・ 田村洋三『沖縄の島守 内務官僚かく戦えり』（中央公論新社、2006年）
- ・ 田村洋三『沖縄一中鉄血勤皇隊 学徒の盾となった隊長篠原保司』（光人社、2010年）
- ・ 吉村昭『殉国 陸軍二等兵比嘉真一』（文芸春秋、1991年）
- ・ 奥田鑛一郎『沖縄軍司令官 牛島満』（芙蓉書房、1985年）
- ・ 小松茂朗『牛島満軍司令官沖縄に死す 最後の決戦場に散った慈愛の将軍の生涯』（潮書房光人社、2016年）
- ・ H.T.CRESWELL , J.HIRAOKA , R.NAMBA『英和和英日米軍事用語辞典太平洋戦争篇』（榕樹書林、2001年）

脚注

- 【4 P】1 防衛庁防衛研究所戦史室『戦史叢書11 沖縄方面陸軍作戦』（朝雲新聞社、1968年）p116
- 【8 P】2 八原博通『沖縄決戦 高級参謀の手記』（中央公論新社、2015年）p323-324
- 【10P】3 沖縄県教育庁文化財課史料編集班『沖縄県史 各論編第6巻 沖縄戦』（沖縄県教育委員会、2017年）p186-187
- 【11P】4 昭和27年4月24日付『沖縄の遺骨調査報告（2）』茨城県立歴史館所蔵、内閣府沖縄戦関係資料閲覧室C-08-04
- 【11P】5 臨済宗妙心寺派天授山万松院ホームページ「万松院の歴史」<https://www.syuribanshoin.com/about.php>
- 【26P】6 沖縄県教育庁文化財課史料編集班『沖縄県史 資料編23沖縄戦 日本軍史料沖縄戦6』（沖縄県教育委員会、2012年）p61-62
- 【48P】7 吉浜忍『沖縄の戦争遺跡 〈記憶〉を未来につなげる』（吉川弘文館、2017年）p51-53
- 【48P】8 沖縄県立埋蔵文化財センター『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書75 沖縄県の戦争遺跡』（沖縄県立埋蔵文化財センター、2015）p89-90
- 【49P】9 沖縄県立埋蔵文化財センター『令和6年度沖縄県立埋蔵文化財センター企画展：史跡円覚寺跡図録』（沖縄県立埋蔵文化財センター、2024年）p2-7
- 【50P】10 ひめゆり平和祈念資料館『ひめゆり平和祈念資料館資料集4 沖縄戦の全学徒隊』（フォレスト、2020年）p36-42
- 【52P】11 前掲『沖縄県立埋蔵文化財センター調査報告書75 沖縄県の戦争遺跡』p209-212
- 【57P】12 前掲『ひめゆり平和祈念資料館資料集4 沖縄戦の全学徒隊』p48-56、p98-102
- 【58P】13 日本キリスト教団首里教会ホームページ「教会の歴史」 https://shuri-kyokai.ryukyu/church_history/
- 【62P】14 前掲『沖縄県史 各論編第6巻 沖縄戦』p345

編集

〔事務局〕

沖縄県知事公室平和・地域外交推進課

〔編集〕

株式会社まるとまるっと

〔編さんワーキンググループ委員〕

委員 仲程勝哉（沖縄県平和祈念資料館学芸員）

委員 山本正昭（沖縄県立博物館・美術館主任学芸員）

委員 秋山道宏（沖縄国際大学准教授）

委員 吉川由紀（沖縄国際大学非常勤講師）

委員 鈴木悠（那覇市歴史博物館主任学芸員）

〔監修〕

仲村真（沖縄県平和祈念資料館友の会事務局長）

第32軍司令部壕ガイドテキスト

令和7年度版

2026年（令和8年）3月発行

企画・発行：沖縄県知事公室平和・地域外交推進課

098-894-2226

編集・作成：株式会社まるとまるっと

沖縄県 第32軍司令部壕専用ホームページ

<https://32okinawa.com>

